

「小児 ICU における嚥下機能評価アセスメントシートの有用性」に対するご協力をお願い

研究責任者 杉浦なおみ
研究機関名 慶應義塾大学病院
(所属) 6A-3 病棟

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

2023年11月から2024年5月までに、当院の小児ICUに入院された方が対象となります。

なお、診療情報が不十分な患者さん、研究に参加したくない旨の表明があった方は、本研究の対象ではありません。

2 研究課題名

承認番号 20251016

研究課題名 小児ICUにおける嚥下機能評価アセスメントシートの有用性

3 研究組織

研究機関

慶應義塾大学病院

研究責任者

看護師長 杉浦なおみ

4 本研究の目的、方法

本研究の目的は、小児嚥下機能アセスメントシートを用いて嚥下機能評価を実施した患者さんを対象に、その有用性を評価することです。研究方法は、2023年11月～2024年5月の間、当院小児ICUに入室した6歳未満の患者さんのうち、ICU滞在中に経口摂取再開が決まった患者さんを対象とします。小児嚥下機能アセスメントシートを用いて、①4項目（術後挿管帰室、術前情報より誤嚥リスクあり、嘔声あり、流涎あり）の予備スクリーニングで誤嚥リスクのある患者さんを抽出し、

②該当する患者さんに詳細な評価を行い最終的にリスク分類（高・中・低リスク）を行います。高リスクの方に対しては経口摂取開始前に ST による評価を必須とします。中リスクの方に対しては医師と看護師で再検討を行い、低リスクと判断された方には経口摂取を再開しています。小児嚥下機能アセスメントシートにより安全に経口摂取を開始できる患者さんを的確に抽出できるかどうか評価します。

5 協力をお願いする内容

対象となる患者さん（1.対象となる方の項参照）の診療録を閲覧し、患者さんの情報（年齢、術式、むせこみの有無、嘔声の有無、誤嚥の有無など）、治療内容の情報を収集させていただきます。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2026年3月31日

7 外部への試料・情報の提供

なし

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

担当者

研究責任者：杉浦なおみ

分担者：田中ひかる

問合せ先（平日8時～17時）

内線：66703 外線：03-3353-1227

naomi.sugiura@adst.keio.ac.jp

hkr666@keio.jp

以上